

ぼらっと

【第23号】

2011年8月25日



『ぼらっと』とは「ぶらりと」気軽に、「ボランティア」しましょう!!という造語です。

発行元
〒020-0541 粟石町千刈田82-2
粟石町総合福祉センター内
粟石町社会福祉協議会ボランティア活動センター
電話/692-2230 FAX/691-1140
e-mail/shizukuishi-VC@shisha.or.jp
<http://www.shisha.or.jp/>
ホームページからもご覧になれます。



災害復旧支援ボランティア募集!

生かす被災者の心を癒すため、被災地の復興支援活動を行います。被災地の復興支援活動は、被災者の生活の再建に大きく貢献しています。被災地の復興支援活動は、被災者の生活の再建に大きく貢献しています。被災地の復興支援活動は、被災者の生活の再建に大きく貢献しています。

被災地の復興支援活動は、被災者の生活の再建に大きく貢献しています。被災地の復興支援活動は、被災者の生活の再建に大きく貢献しています。被災地の復興支援活動は、被災者の生活の再建に大きく貢献しています。



<p><活動期日></p> <p>★ 9月第1陣 平成23年9月3日(土)</p> <p>★ 9月第2陣 平成23年9月9日(金)</p>	<p><募集人員・応募条件></p> <p>★ 各20名(先着順。定員になり次第締切。)</p> <p>★ 心身ともに健康な方。 高校生以下の参加の場合は、保護者の引率が必要です。)</p> <p>★ ボランティア活動保険(天災A)にご加入済の方</p>
<p><活動場所・内容></p> <p>★ 大槌町</p> <p>★ 主な活動内容: がれきやゴミの撤去等</p> <p><日程> ・交通状況等により日程が変更になる場合もあります。</p> <p>5時50分 粟石町総合福祉センター集合 6時00分 粟石町総合福祉センター出発 9時00分 大槌町災害ボランティアセンター着 9時30分 作業開始 15時00分 作業終了 16時00分 大槌町災害ボランティアセンター発 19時00分 粟石町総合福祉センター到着</p>	<p><持ち物></p> <p>★主に屋外での活動になるので汚れても良い服装。(長袖・長ズボン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昼食(飲料水) ○ カップ・タオル・帽子 ○ 作業用の厚手のゴムや皮の手袋 ○ 汚れてもよい丈夫な靴 *あれば安全靴(ステンレス入) ○ 可能な方はスコップ ○ 身分証明書(運転免許証等) ○ 作業後の着替え等 ○ 気温によっては、防寒着 <p>※マスクはこちらで準備します。 ※各自、熱中症対策をお願いします。</p>

<お申込み&お問い合わせ先・その他>

★ 粟石町災害ボランティアセンター(粟石町総合福祉センター内)
〒020-0541 粟石町千刈田82-2(粟石町役場となり) 電話: 692-2230

★ 申込受付時間 ⇒ 平日(月曜日~金曜日)午前8時30分~午後5時まで

★ 申込方法 ⇒ 来所または、お電話にて受付いたします。★ 担当 ⇒ 大村・外村

★ その他 ⇒ ※ボランティア活動保険は、粟石町社会福祉協議会ボランティア活動センターにて加入することができます。

☆雫石町青少年ボランティアスクール2011 活動報告☆

東日本大震災から5カ月が経過しようとしていた8月5日「今からでも遅くない!ほくらがでできる災害支援ボランティア」をテーマに、現在の被災地の様子を自分の目で確かめ、中学生として何が出来るのかを考え、また、今後の地域にかかわりを持つことの必要性と自主的に積極的な社会参加を促進することを目的に、「雫石町青少年ボランティアスクール2011」が岩手県野田村で開催され、雫石中学校の生徒さん49名が参加しました。

◎主な作業

- ・ 物資を保管している体育館で、物資の整理（洋服のたたみ直し、少なくなっている箱を移し替えるなどの）作業
 - ・ 1階が浸水した個人宅で、土や泥に覆われ外に放置されていた家具・食器などを洗い、収納する作業
 - ・ 流されてしまった食堂の建物とその周辺のカシキ等の撤去作業
- ※3グループに分かれて作業しました。



6:00雫石町総合福祉センターを出発し、8:30野田村災害ボランティアセンター到着。今日の作業内容が伝えられ、早速現場に向かいます。

生徒さんたちのパワーに圧倒されました!!



9:00作業開始。大半の生徒さんは、十府ヶ浦海岸のすぐ側での作業となりました。

この辺は食堂があった場所です。食器・調理用具などお店で使用していた物や、貴重品、写真などの思い出の品がまだ残っていました。細かな気配りも重要です!



15:00 作業終了
大震災が残した爪痕を自分の目で見て、テレビとは全く違う現状に皆さん驚いていました。そして、少しでも現地の方の力になれば・・・と一生懸命復興支援に励んだ1日となりました。帰りのバスの中では「また行きたい!」とたくさんの生徒さんから声を頂きました。

自分の周りのガシキなどをバケツに集め、土のう袋に移すという流れを午前・午後の計4時間作業し、土のう袋が11袋になりました。
※この土のう袋は軽自動車1台分が入りそうなくらいの大きさです。それが11袋となつたので・・・生徒さんたちの頑張りが現れました!!素晴らしい成果です!!